資料ー2

THEシガパークについて

滋賀県交通まちづくり部
THEシガパーク推進課

公園とは

「公園」とは、一般的には、人々が憩ったり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりするために、公衆に開かれた場所です。

一方で、根拠法令や条例によって、設置目的が異なる様々な「公園」が存在しています。

【(参考)公園の分類について】

- 営造物公園
  - 国の営造物公園
    - 国民公園（環境省設置法）
    - 都市公園（国営公園）
  - 地方公共団体の営造物公園
    - 都市公園（都市公園法）
    - その他の公園
- 地域制公園 --- 国立公園、県立自然公園等（自然公園法）


皇居外苑


湖岸なぎさ公園


琵琶湖国定公園

自然豊かなしがの公園

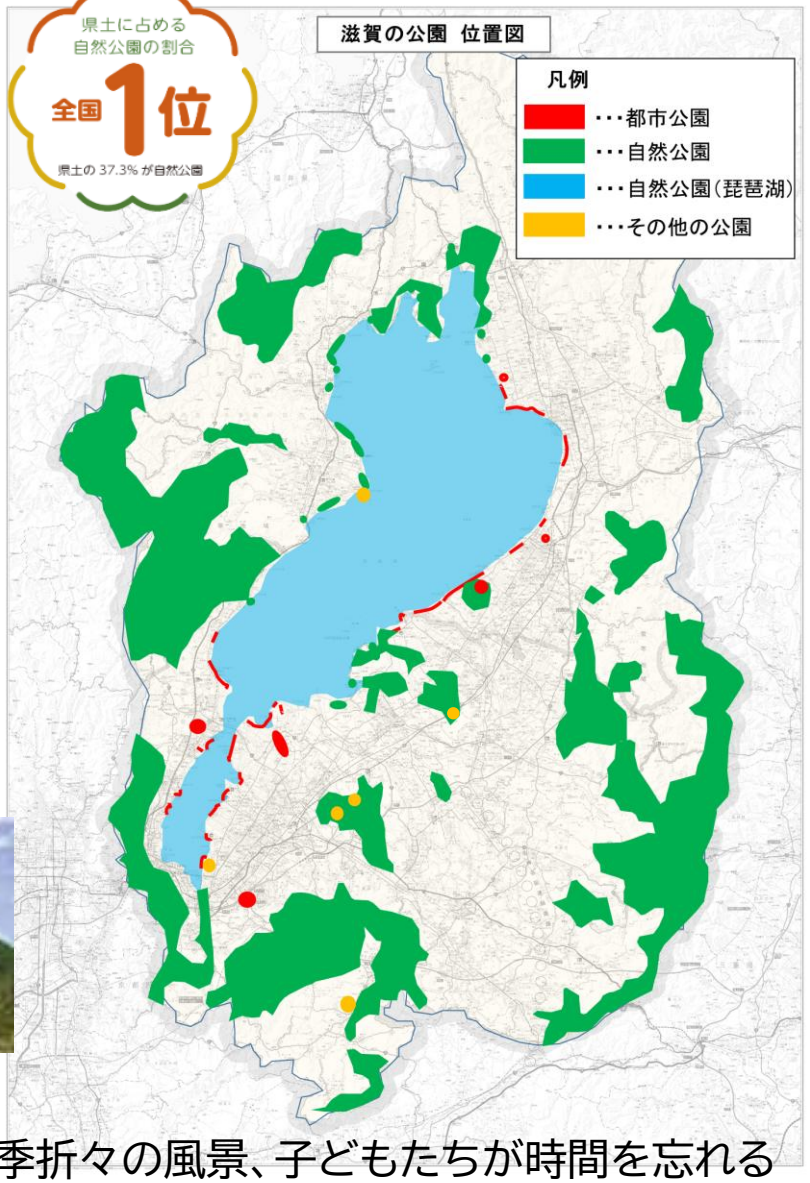
【しがの公園と自然のつながり】

・滋賀県の生活・文化・歴史は古くから、びわ湖はもちろんそこに流れ込む多くの河川やその源流となる山や森林といった自然と切り離せない関係にあり、公園もまた緑や水と強く結びついています。
・滋賀県には、そのような豊かな自然を生かした魅力ある公園がびわ湖沿岸から内陸まで数多く存在しており、その県土に占める自然公園の割合は**全国一位の37%**です。







・滋賀県には、びわ湖の碧さに溶け込むようなくつろぎの空間、四季折々の風景、子どもたちが時間を忘れる遊びの場など、さまざまな特徴のある魅力的な公園がたくさんあります。

ＴＨＥシガパークについて

THE シガパークとは

- 滋賀県では、**琵琶湖を中心とした滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公園となった姿を「THE シガパーク」**と定義し、全ての人の**憩い・交流・体験の場となることを目指し**ています。

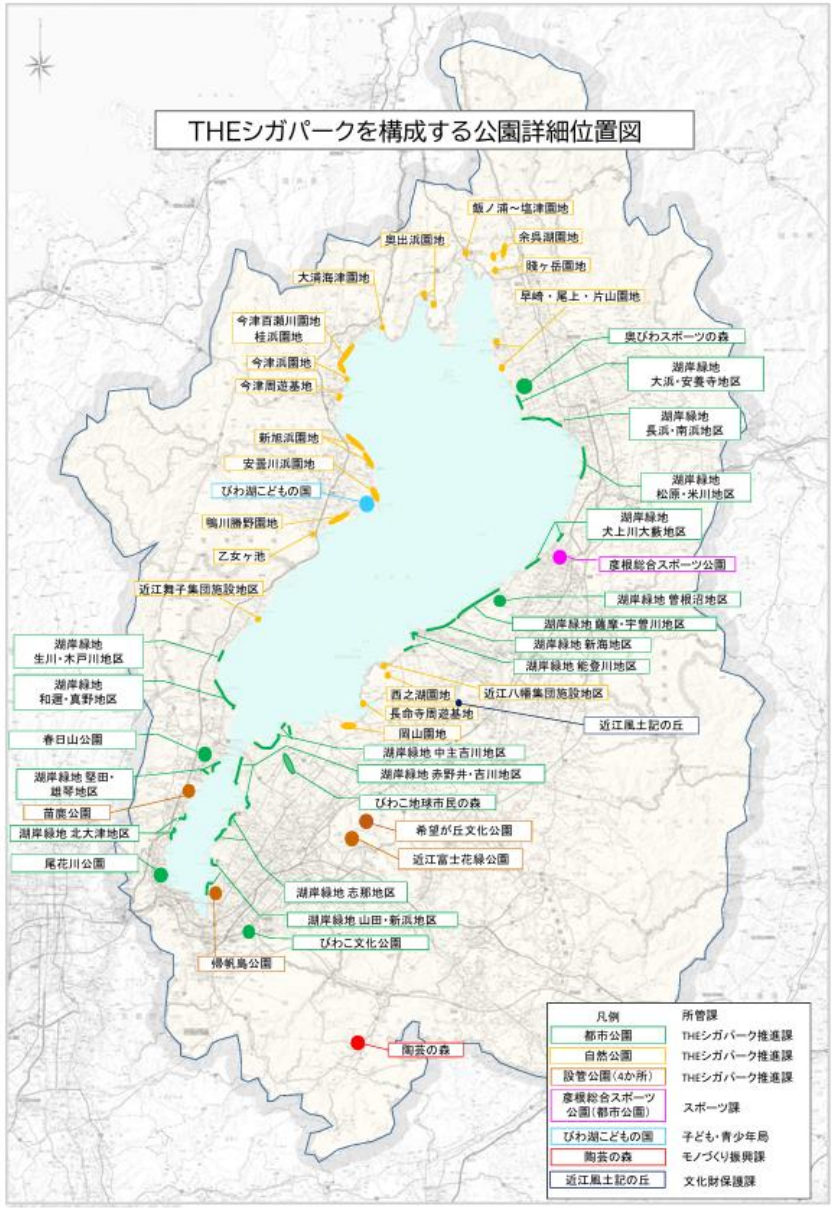
- 今年度から「THEシガパーク推進課」が新設され、都市公園に加え、自然公園やその他の公園を同一組織で担当することとなり、法律や予算の垣根を超えた一体的な公園として、効率的かつ効果的な公園運営を推進しています。

THEシガパークを構成する公園

【THEシガパーク推進課が所管する公園】

公園名	旧所管所属
湖岸緑地 びわこ文化公園 びわこ地球市民の森 奥びわスポーツの森 春日山公園 尾花川公園	都市計画課
矢橋帰帆島公園 苗鹿公園	下水道課
希望が丘文化公園	文化芸術振興課
近江富士花緑公園	森林政策課
自然公園	自然環境保全課

公園名	所管所属
近江風土記の丘	文化財保護課
彦根総合スポーツ公園	スポーツ課
びわ湖こどもの国	子ども若者政策・私学振興課
陶芸の森	イノベーション推進課



▲THE シガパークを構成する公園

ＴＨＥシガパークの取組

・THEシガパークの実現に向けて、公園の「美しさ」、「優しさ」、「楽しさ」という3つの視点での魅力向上のため、「チームアップ」、「レベルアップ」、「タイアップ」という3つのアップを合言葉に、公園の魅力向上の取組を進めています。

★3つの視点（美・優・楽）

1.【美】「うつくシガパーク」

滋賀の自然を活かした景観の美しさをはじめ、トイレなどの公園施設の美しさ、利用者の美しい利用マナーの推進など「美しい公園」を目指します。



2.【優】「やさシガパーク」

子どもから高齢者、障がい者や外国人を含めた誰もが利用しやすく、人間だけでなく動物をはじめ鳥や虫、草花などの生き物を含めた自然も大切にする、「優しい公園」を目指します。



3.【楽】「たのシガパーク」

訪れただけで気持ちが楽になり、シガパークでしか見れないもの、体験できないことが充実していて、楽しい時間をたっぷり過ごすことができる、「楽しい公園」を目指します。



★3つの取組（スリーアップ）

1.部局を横断した公園連携・庁内連携の取組【Team Up!】

・部局横断の推進会議の設置
・ポータルサイトでの一体的な広報や、魅力プロモーション
・シガパーク同士が連携したイベントの実施や共通看板設置
・公園と県の様々な施策（ビワイチ、シガリズム等）との連携



2.拠点的な公園の機能強化と利便性の向上【Level Up!】

・それぞれの公園が特徴と魅力を伸ばすための施設の整備
・利用者が快適に過ごせるための整備（トイレ整備等）
・利用者の利便性向上に資する取組



3.市町・民間事業者・住民等と協働した取組【Tie Up!】

・民間活力やノウハウを活用した取組
・市町の公園・民間施設等との協働イベント・情報発信
・ネーミングライツ、寄付等を活用した民間との連携
・各公園と民間事業者との多様な形での協力関係の構築



ＴＨＥシガパークの取組

Team Up!　Tie Up!

THE シガパーク

Instagramの開設（R6.8.8）



パンフレットの制作（R7.4.8）



大阪・関西万博　ブース出展（R7.6.26～27）





THEシガパーク企業フォーラムの開催（R7.7.1）



シガパークめぐりデジタルスタンプラリーの開催（R7.11.14～ R8.2.28 ）



THEシガパークDAY（R8.3.20）



公園紹介動画の制作



ＴＨＥシガパークの取組

Level Up!

THE シガパーク

快適なトイレ



わかりやすい案内看板



ゆとりある駐車場



湖岸緑地サイン



矢橋帰帆島公園　子どもの広場遊具リニューアル







希望が丘文化公園　活性化事業
（新宿泊研修施設、キャンプサイト、大型遊具等整備）



THEシガパークビジョンについて

➢ **THEシガパークとは**

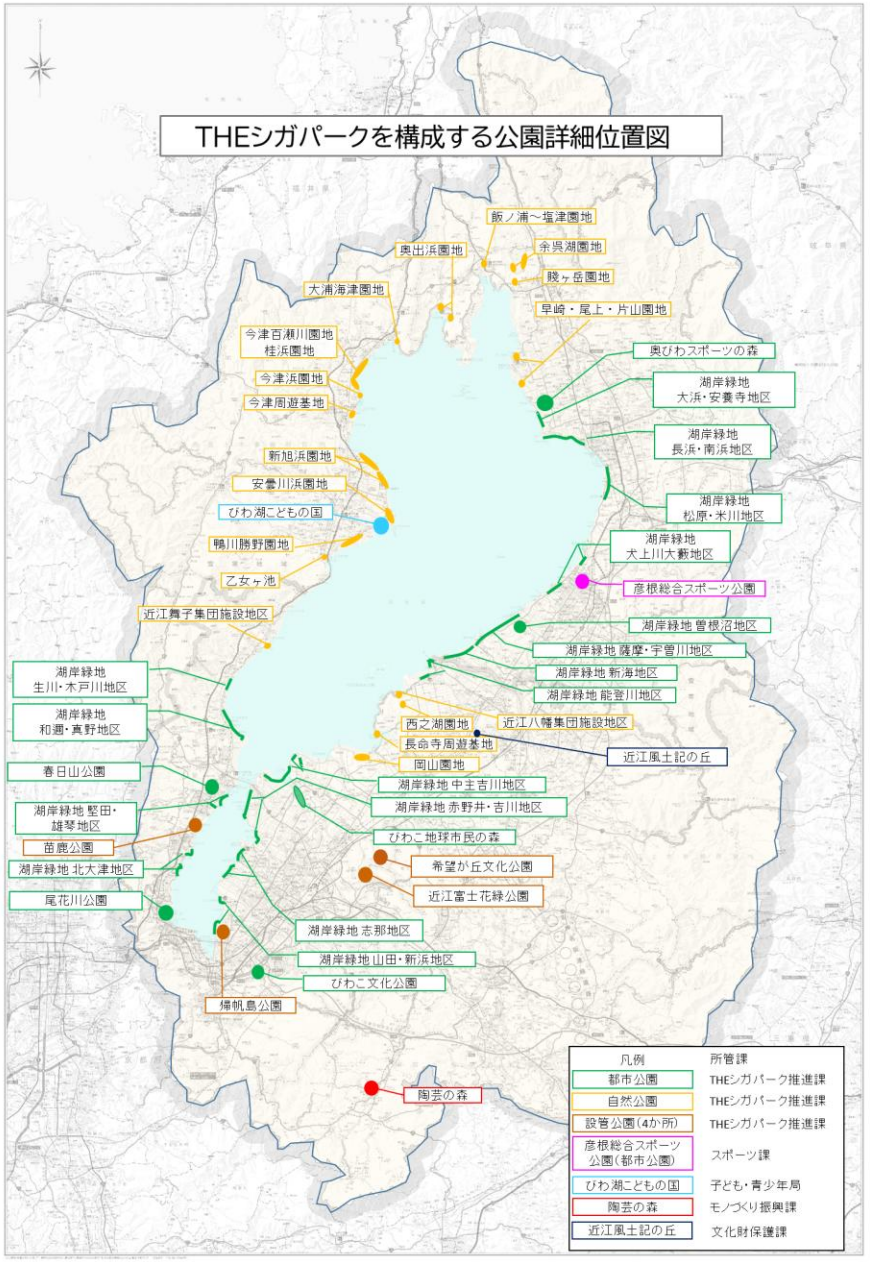
琵琶湖を中心とした滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公園となった姿

➢ **THEシガパークビジョンの構成**

・第Ⅰ編　THEシガパークビジョン
　時代を超えた公園の将来の目指す姿や基本理念
　20～30年後に次世代に引き継ぐための取組方針
・第Ⅱ編　行動計画
　THEシガパークビジョンを実現するための行動計画（5か年毎に策定）

➢ **THEシガパークビジョン策定の状況**

令和8年3月 THEシガパークビジョン骨子の作成
令和9年3月（予定）
THEシガパークビジョン策定



THEシガパーク ビジョン骨子 【概要版】

はじめに	THEシガパークビジョン作成の背景と目的 ① THEシガパークの取組に至った経緯　② THEシガパークの明確化（理念やイメージを県民等と共有） ③ THEシガパーク実現に向けた約5カ年の行動計画の明示　④ 県庁内での取組から、県民等との共創の取組への深化

第Ⅰ編　THEシガパークビジョン

1章　THEシガパークビジョンの概要

■THEシガパークとは

琵琶湖を中心とした滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公園となった姿

■これまでのTHEシガパークの取組

・2023年（令和５年）度に、THEシガパーク推進会議を設置し、県庁内の公園を所管する部局を横断して、公園連携・庁内連携による公園魅力向上への取組を開始
・THEシガパークの目指す姿の実現に向けて、【美】「うつくシガパーク」、【優】「やさシガパーク」、【楽】「たのシガパーク」 の３つの視点で、「チームアップ」、「レベルアップ」、「タイアップ」のスリーアップの取組を開始

■THEシガパークビジョンの構成

・第Ⅰ編　THEシガパークビジョン
　時代を超えた公園の将来の目指す姿や基本理念
　20～30年後に次世代に引き継ぐための取組方針
・第Ⅱ編　行動計画
　THEシガパークビジョンを実現するための行動計画（５か年毎に策定）

■THEシガパークビジョンの位置付け

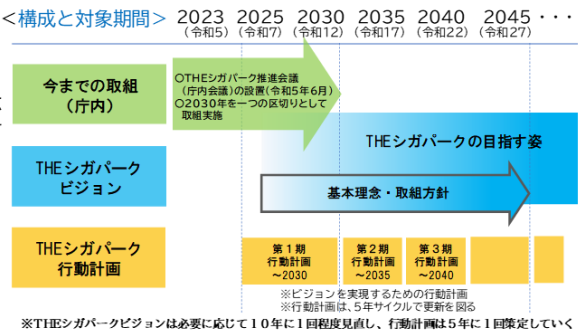
【上位計画】
・基本構想　ほか

【関連計画】
・滋賀県の気候変動影響等とりまとめ
・みどりとみずべの将来ビジョン　　ほか

【対象分野】
・公園の利便性向上・利用促進に関する取組（ハード＆ソフト事業）
・県の各施策を推進する上で公園に関係する取組（健康、こども、自然環境、生物多様性、動物愛護、地域交通、観光など…
　→各専門部局の方針等に沿って、支えていく）

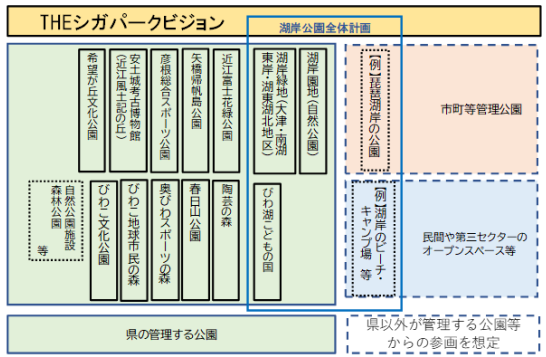
【取組対象範囲】
①県が管理する主な公園に、その他の県管理公園を順次追加
②市町管理公園や民間のオープンスペース等からの参画を想定

＜構成と対象期間＞



※THEシガパークビジョンは必要に応じて１０年に１回程度見直し、行動計画は５年に１回策定していく

＜対象範囲＞



※THEシガパークビジョンを実現するための重点的な取組として、湖岸公園全体計画をTHEシガパークビジョンと並行して、別途検討

2章　公園への期待と課題

■公園の役割・とりまく課題

公園のもつ多様な役割
○子どもの遊び場に留まらない様々な役割
○防災、環境、健康、子育て、観光といった、近年高い関心と注目を浴びている多くの分野に関係

現在の公園をとりまく課題
○新型コロナの感染拡大を経たニューノーマル社会への対応
○地球環境問題（温暖化、異常気象等）への取り組み
○社会構造変化による孤独・孤立、コミュニティ衰退への対応
○市民・民間事業者の意識変化（市民参加による社会課題の解決、官民連携等）
○人口減少・少子高齢化社会への適応

■県が管理する公園の現状と課題

県が管理する公園について
○滋賀県には豊かな自然を生かした公園が琵琶湖沿岸から内陸まで数多く存在
○県土に占める自然公園の割合は全国一位の37.3%
○都市公園や自然公園をはじめ、条例公園など様々な公園が存在（所管5部9課）

公園のさらなる魅力向上に向けた課題
○時代の変化に合わせた魅力ある公園のあるべき姿の提示
○利用者目線に配慮した公園づくり
○県の財政的制約を踏まえた施設の老朽化への対応
○公園管理者・造園技術者の不足
○自然保護と利用のバランスをとる仕組みづくり
○公園への交通アクセスの対応
○「滋賀県基本構想実施計画第２期」に基づく施策の展開

■利用者等の公園に対する思い・期待

利用者等の公園に対する思い
○滋賀の公園の魅力は、散策ができる・風景がきれいという意見が大多数で、動植物が多く生育するなど自然が豊かであるという意見も多い
○公園での思い出は、ライフステージごとに積み重なり人生を豊かにしている
○自由な空間として、多様な人や利用を受け入れ、出会う場となっている
○県民は、釣り、湖水浴、夕陽など琵琶湖岸での様々な思い出がある

利用者等の公園に対する期待
○県民：日常的な公園利用としての質の向上と、多様な利用者へ対応
○県外の方：観光・レジャーとしての魅力向上、自然への憧れ等、都会にはない非日常的体験
○公園施設の要望：売店・飲食が最多
　トイレ、日陰・暑さ対策、駐車場改善が上位
○公園を利用しない・利用できない主な理由は、目的や交通手段がない等

3章　THEシガパークの目指す姿

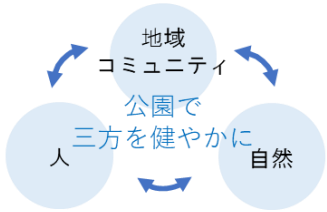
琵琶湖を中心に、人の暮らしと心、自然が健やかになる“THEシガパーク”

琵琶湖を中心に、滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公園となり、
人の暮らしと心、自然環境や生き物が健やかになる姿を目指す

4章　基本理念と取組方針

■基本理念

**県内の公園どうしが互いにつながり、
人、自然、地域コミュニティをつないで、
三方が健やかになる公園を次世代に継承する**



■取組方針

基本理念のもと、３つの視点で、スリーアップによる取組を進めて、
THEシガパークの目指す姿の実現に向け取組んでいく

【３つの視点】

【美】うつくシガパーク	滋賀の自然を活かした景観の美しさをはじめ、トイレなどの公園施設の美しさ、利用者の美しい利用マナーの推進など「美しい公園」
【優】やさシガパーク	子どもから高齢者、障がい者や外国人を含めた誰もが利用しやすく、人間だけでなく動物をはじめ鳥や虫、草花などの生き物を含めた自然も大切にする、「優しい公園」
【楽】たのシガパーク	ふらっと訪れただけで気持ちが楽になり、シガパークでしか見られないもの、体験できないことが充実していて、楽しい時間をたっぷり過ごすことができる、「楽しい公園」

【取組：スリーアップ】

【チームアップ】連携
部局横断、一体的広報・イベント連携、県の施策連携

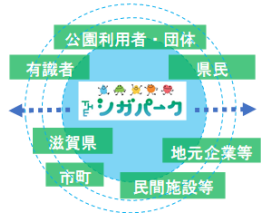
【レベルアップ】機能強化・利便性向上
魅力事業、ベース事業、利便性向上の取組

【タイアップ】共創
地域コミュニティ・市町、民間施設等との連携、寄付

5章　THEシガパークビジョンの実現に向けて

■推進体制

令和５年度から庁内の部局横断で進めてきたTHEシガパークの取組をベースに、県民や公園利用者、関係者等とともに、市町や民間施設、地域コミュニティなども含めた共創による取組（みんなでつくるTHEシガパーク）に深化



■市町・民間・地域コミュニティ等との連携

THEシガパークの趣旨に賛同し、参画、連携が可能な公園等について、THEシガパークを構成する公園に含めていく予定

■THEシガパークビジョン等の見直し

・THEシガパークビジョンは必要に応じて10年に１回程度見直し予定
・行動計画は5年に1回策定、必要に応じて順応的に見直しする予定

第Ⅱ編　第1期行動計画2030

1章　行動計画の概要

行動計画は、THEシガパークビジョン（第Ⅰ編）を実現するために、５か年サイクルで作成します。 第１期の期間は2026～2030年とします。

2章　2030年の目標(案)

THEシガパークビジョンの実現に向けて、第１期行動計画期間に目指す目標(指標）を示します。

3章　実施内容とロードマップ

■チームアップ

（１）一体的広報・イベント連携
・ポータルサイトでの一体的な広報や、魅力プロモーション等
・公園どうしが連携したイベントの実施や共通サインデザイン等

（２）県庁内連携
・県の施策（健康、こども、自然環境、生物多様性、動物愛護、地域交通、観光等）との連携

（３）市町の公園との連携
・情報や技術共有、維持管理運営の共同実施（群マネ）等

■レベルアップ

（１）魅力事業
・それぞれの公園が特徴と魅力を伸ばすための施設整備、公園再整備

（２）ベース事業
・利用者が快適に過ごせるための施設整備（トイレ、駐車場、サイン等）
・公園DX（公園管理運営におけるDX)導入による快適性向上に資する取組
・利用者の利便性向上、適正利用に資する取組

■タイアップ

（１）ボランティア・地域コミュニティ活動
・各公園の活動団体・地域コミュニティ活動との多様な形での協力関係の構築
・公園利用者が公園に気軽に関われる仕組みやツールの構築

（２）公民連携、寄付
・PPP/PFI、寄付等を活用した民間との連携
・イベント開催等による公園の利活用

（３）市町の公園、民間との連携
・市町の公園・民間のオープンスペースとの連携（イベント、広報）等

<ロードマップ イメージ>

重点プロジェクト		実施主体	2026（R8）	2027（R9）	2028（R10）	2029（R11）	2030（R12）
チームアップ	一体的広報・イベント連携	県	→	→	→	→	→
	庁内連携	県	→	→	→	→	→
	市町の公園の参画	県＋市町			⇢	⇢	⇢
レベルアップ	魅力事業	県	→	→	→	→	→
	ベース事業	県	→	→	→	→	→
タイアップ	地域コミュニティ活動	県＋地域等	⇢	⇢	⇢	⇢	⇢
	企業連携、寄付	県＋民間等	⇢	⇢	⇢	⇢	⇢
	市町の公園・民間との連携	県＋市町・民間	⇢	⇢	⇢	⇢	⇢

順応的見直しをしながら進行を管理